

3学期の終業式で皆さんに「これからの1年をどう生きていくか」という話をしました。春休みを使って、色々と考えてみたり、普段できないことをどんどん試したりしてください。今日は、皆さん一人一人がどう考え、何を決意したか、確かめてみることはしませんが、ぜひ気持ちを新たにして、積極的に取り組んでいってください。

大宮西高校にとって、これからの1年は特別な1年になります。中等教育学校開校を2年後に控えた今年度は、3学年が揃って学校生活を送ることのできる最後の1年です。先月、教頭先生から説明があったように、これから本格的な工事も始まります。そのことによって、皆さんに少なからず不自由な思いをさせてしまうことでしょう。

さて、今日は午後から大宮西高校としては最後の入学式が行われます。新入生は、3年後に本校を卒業するまで、大宮西高生としての後輩は入って来ません。そんな特殊な事情が分かっているながら、それでも西高で学びたい、西高で大切な高校生活を送りたい、そう考えてあえて大宮西高校を志願し、入学を決めてくれた新入生です。

だからこそ、そんな新入生の気持ちにできるだけ応えてあげたい。そして、新入生全員が3年後に「やっぱり大宮西高校で良かった」という気持ちを胸に卒業できるようにしてあげたい。これは、私をはじめとする先生方だけではなく、おそらく先輩である生徒の皆さんも同じように考えてくれるものと思っています。

では、そのためにすべきことは何か、できることは何か。まず最も有効な方法は、先輩である皆さん一人一人が、自分自身の高校生活を最大限に充実させて、その姿を後輩諸君に見せてあげること。先生方にとっては、皆さん一人一人の高校生活を最大限に充実させて、その上でそれぞれの進路希望を実現させてあげること。そう考えています。

間違えないで貰いたいのは、皆さんがただ気分よく好き勝手に高校生活を送ることではなく、私たちが皆さんにそういう高校生活を送らせることではないということです。皆さんが大好きな学校行事でも、より良い人生に繋がる進路希望でも、より高みを目指して精進し、切磋琢磨すること、そして私たちは皆さんを叱咤激励し、鍛えるということです。

何度も言いますが、「世界を、この世の中を、もっと良くするために、今の自分に何ができるか、何をしたらよいのか」と考えた時、その一つが「自分自身の高校生活を最大限に充実させること」だと言えます。そのために自分にできること、すべきことを、自分の頭で考えて、ハートで意識して、行動してください。

そして、新入生全員に「やっぱり大宮西高校で良かった」と実感させてあげましょう。そしていつか、大宮西高校があったからこそその中等教育学校だと言われたいし、言わせたい。

校歌の3番にある通り、「われら誇り持つ者」Pride of the West、西高の誇りを示そう。この1年も、皆さんのすべての活動に期待しています。